

林野火災に関する市長記者会見

令和7年3月26日

発生から4日目となり、市民の皆様には大変ご心配をおかけしております。避難生活が長期化されている方もいらっしゃると思います。一日でも早く、皆様が日常生活を取り戻せるよう消防の体制を増強して、消火活動を進めております。

本日未明からは緊急消防援助隊として広島県消防隊、香川県消防隊も加わっていただき、地上部隊は900名体制で懸命の消防活動が行われました。また、空中からは自衛隊ヘリ4機、周辺自治体の消防防災ヘリ6機で消火活動にあたっていただいております。あらためて、愛媛県、自衛隊をはじめ、周辺自治体など、様々な機関からのご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

現在把握できている焼損面積は本日14時00分現在で417ヘクタールに及んでおり、延焼範囲は拡大しています。一方で、私自身が日中に現場の状況を確認して回りましたが、火の勢いはあ

きらかに昨日と比べ弱まってきているのではないかと感じているところです。

昨日は強風の影響もあって広範囲に飛び火し、住宅などへ被害が及びました。現在のところ、住宅7棟、倉庫2棟の被害が確認されています。これまで、人命とともに住家や建物への延焼を防ぐことを第一に消火活動を行ってきましたが、被害に遭われた方には大変申し訳なく、お見舞いを申し上げます。

避難につきましては、本日17時30分現在で、61世帯90名が市内7カ所の避難所へ避難をされています。避難所での生活が長引き、ご不自由をおかけしているかと思いますが、市内外の企業、団体などから、避難者支援に様々なご協力をいただいております。

FC今治をはじめ市内のこども食堂や婦人会などが避難所で炊き出しを行っていただいております、併せて支援物資についても、食料品や毛布などの物資を多数ご提供いただいております。避難されている方の健康状態の確認のため、保健師も巡回をしている一方

で、桜井地域にある藤田クリニックさんが往診を行っていただいたとも、うかがっております。そのほかにも、数多くの支援のお申し出をいただいております、あらためて皆様のご厚意に感謝を申し上げます。

また、四国電力送配電から市内全域に及ぶ大規模停電の懸念が表明されています。消防へは送電線・配電線をしっかりと守るよう指示をいたしておりますが、万が一、停電が発生した場合に備えて、四国電力送配電より、移動電源車を約 100 台手配いただいております、停電が発生した場合も最小限の被害で食い止めることができるよう備えています。

なお、本日 16 時から愛媛県とのテレビ会議を行い、その場において愛媛県知事から災害救助法の適用を要請するとのお話をいただきました。災害救助法の適用を受けることで、応急救助の費用について、県、国が負担していただけるようになります。

このように、多方面からの応援、支援をいただきながら、一刻

も早い鎮圧、鎮火を目指して、引き続き全力で消火活動を進めてまいります。明日以降はまとまった量の降雨が期待できます。多くの方々が現場の最前線で、昼夜を問わず、懸命の消火活動にあたってきています。この困難を乗り越えて、日常生活を取り戻せるよう取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。